

府中市美術館アートスタジオ♪
自然のかたちの喜びと発見♪

台所によくある身近な素材を使って

アマビエを 木に描こう！

かまぼこ板

かまぼこ板に描いたアマビエ



講師 山内若菜



「牧場 放」3.4m×3.1m

やまうちわかな

こんにちは。絵描きの山内若菜です。

私は国内外で大きな壁画的な牧場を描いた作品等を発表しています。材料はこのワークショップのために描いた巨大アマビエのようにクラフト紙に描いているものが多いです。

身近にある安価な素材で、本日は木で、捨ててしまう前に！のかまぼこ板や木のかげらに和紙をはったり削ったりして、下に木の模様をこすりだしたり素材によって発見をしてゆく過程を体験しアマビエという対象から、ものをつくり描くなかで自分だけのかたちを発見をしてゆけたらと思います。

材料・道具

- ・かまぼこ板や木
- ・顆粒コーヒー
- ・ペン（あれば筆）
- ・新聞紙
- ・水入れ
- ・アクリル絵の具（白と黒）
（あればたくさん色絵具）
- ・和紙
- ・葉

こんな感じで木の大きいバージョンもあります。

色々な木にえがくと、しっかりして持つし、木の味わいに

思いがこもっているようです。パネルやそうめんの板にも描いてたくさんの作品をつくってほしいです！



つくりかた

0. 木を用意します。
1. 木に和紙をちぎって貼ります。
アクリル白を一部にのせて下地にします。
2. 何に見えるだろう？と素材と対話しつつ
形を発見しながらアマビエを描いてゆきます。
あ！ここ、足っぽいなど？というような発見も。
3. 見つけた線をひいてゆきます。
うろこを木の模様や葉っぱのもようを
フロッタージュ（こすり出し）技法してみよう！
こすってかたどってたのしいウロコを発見してみます。
4. 葉っぱを埋め込んでその上にふきんをはったり、
その上にまた発見したものをなぞりえがいてゆきます。
5. コーヒーの液体やお茶を背景に筆で描いてみます。
神様が宿るような背景に！？
6. 自分だけのお守りをかまぼこ板でつくりました。
立たせてみて、完成です！
7. 完成！木のウロコアマビエ、かまぼこ板アマビエ、
和紙アマビエができました！
木に描くという事で、より身に近い自然を感じられたような感じがしませんか。

アマビエって？

アマビエ（歴史的仮名遣：アマビエ）
は日本における伝説の半人半魚・妖
怪。海中から光輝く姿で現れ豊作・
疫病などに関する予言をすると伝
わっている。



「肥後国海中の怪(アマビエの図)」(京都大学附属図書館)

講師からひとこと

素材からもらえる発見、対象の素材を組み合わせるアイディアを得る体験をして
自然の神秘的な形にアイディアを頂き創造していく喜びから
生きる神秘というか、自然と一緒に生きている喜びを感じてもらえたらうれしいです！

